

令和元年度 研修講座DVDライブラリー



参加できなかった講座、
ぜひご覧ください！

長野県生涯学習推進センター

貸出番号	(講座名)・「演題」・講師名 <収録時間>	おすすめのポイント
R1-1	(もうひとつの公共) <113分> 講義 「市民社会の力が問われている ～参画型市民社会の創造とボランティア・コーディネーション～」 昭和学生大学グローバルビジネス学部 特任教授 興梠 寛	ボランティア活動を通じて生きがいのある日々を送り、社会に貢献したいという人々が増えています。講座では県内外のボランティア・NPO活動推進の研究やプログラム開発に携わり、市民参画の運営による「世田谷ボランティア協会」を立ち上げた講師から、責任ある市民として今われわれに何が期待されているかを学びます。
R1-2	(幼児期にふさわしい運動遊び) <88分> 講義 「幼児期にふさわしい運動遊び」 松本短期大学幼児保育学科 准教授 白金 俊二	子ども達の体力低下が問題となっています。国のデータを基に、子どもの体格・体力・運動頻度の変化や、運動が脳の血流量に与える影響について解説しています。子どもの発達の特性に合った、多様な動きをバランスよく取り入れ、自主性を大切に運動の重要性について学びます。
R1-3	(命を守るための備え) <113分> 講義 「命を守るための備え」 兵庫県広域防災センター 防災教育専門員 神戸大学大学院 都市安全研究センター 田中 健一	阪神・淡路大震災をはじめ、東日本大地震に伴う津波災害、平成30年7月豪雨災害、火山災害など、経験したことのない自然災害が全国各地で発生しています。特に近年多発している突発的な集中豪雨等に焦点を当て、地域が日頃から備えておくべきことや人と人の繋がりの大切さについて考え、過去の教訓から災害時の対応について学びます。
R1-4	(共生社会の実現) 新講師 <114分> 講義 「単身社会における地域の未来を考える ～障がいがつなぐ地域～」 東京都立大学人文社会学部社会福祉分野 教授 杉野 昭博	誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現が、今社会の大きな目標となっています。講座では、単身世帯が増えているという単身社会の視点、障がい者の自立と社会参加の歴史、障がい者にとってのノーマライゼーションとは、障害者権利条約が求めるものなど「共生社会」の現状と課題について、障がい者福祉を専門とされる講師から学びます。
R1-5	(いのち) 貸出回数No.1 <95分> 講義 「今ここをどう生きる ～勅題『光』によせて～」 無量寺東堂 愛知専門尼僧堂堂長 青山 俊董	グローバル化や高度情報化が進み、少子高齢社会が到来するなど、日本がかつて経験したことのない混迷の時代を迎えています。このような激動する社会のなかで、私たちの生き方も大きな転換を迫られています。この講座では、私たちは何を価値あるものとして貴び、いかに生きるべきか、人生のあり方や「いのち」について考えます。
R1-6	(子どもの貧困問題と対策) <113分> 講義 「1ミリでも進める子どもの貧困問題と対策」 社会活動家・東京大学特任教授 湯浅 誠	子どもの貧困は、遠い国の話ではなく、ここ日本でも大きな問題となっています。長野県では、子ども食堂などの支援が、自治体やNPOによって徐々に広がっています。昨年に引き続き、子どもの貧困問題に長年携わっておられる講師を迎え、「子どもの貧困問題とは何か」「どのような対策があるのか」「私たちに今できることは何か」を学びます。
R1-7	(子どもの貧困問題と対策) <116分> 質疑応答 「1ミリでも進める子どもの貧困問題と対策」 社会活動家・東京大学特任教授 湯浅 誠	
R1-8	(持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方) <105分> 講義Ⅰ 「持続可能な社会づくりに向けた教育の 新しい在り方ー何が求められているかー」 湊川短期大学 学長 末本 誠	地域社会はさまざまな困難な課題に直面しています。課題解決のためには、地域課題にも通じる地球的規模の課題を理解して、行動につなげていく必要があると言われてますが、どうなるのでしょうか。この講座ではESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念やユネスコスクール等の実践を学び、「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。
R1-9	(持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方) <32分> 講義Ⅱ 「ユネスコスクールを中心とした ESD/SDGsの広がり」 信州大学学術研究院人文社会科学域教育学系 准教授 安達 仁美	
R1-10	(公民館の未来像) 新講座・新講師 <125分> 講義Ⅰ 「公民館の未来像Ⅰ～公民館の現状と課題～」 講義Ⅱ 「公民館の未来像Ⅱ～公民館の役割りを見出す視点～」 秋田大学大学院教育学研究科 教授 秋田大学教育文化学部附属中学校 原 義彦	我が国固有の社会教育施設である公民館。長野県の公民館数は全国一であり、長く地域づくりの中心を担ってきました。公民館が誕生して70年以上を経過した今、現状を見据え、これからの未来像を「公民館の役割りを見出す視点」から学びます。「公民館は、当初の機能を変えてはいないが、時代が変わっている。公民館も変わらなければいけない」と語っています。

ご利用について

☆貸し出しは無料です。返却時の送料のみ、利用者負担です。

☆貸し出し申込みは、「貸出申込・返却確認カード」にご記入のうえ、直接、当センターに提出頂くか、FAX・電子メールにてお申し込み下さい。